

第48回

今井地区文化祭

～未来につなごう 今井の文化～

11月4日(月)に今井地区文化祭が、今井公民館、今井地区福祉ひろば、今井体育館で開催され、朝から大盛況でした。今年は豪華なステージをはじめ、大抽選会まで一日中楽しくすごしました。また、松本養護学校や今井小学校のおおぞら・たいよう学級の作品展示やバザーが行われました。スタンプラリーには、たくさん子どもたちが参加して、にぎやかな文化祭でした。打ち立てのそばに長い列ができ、持ち帰りそばはすぐに売り切れでした。



No.374

今井公民館
館報編集委員会
電話 59-2001
FAX 59-1004

豪華ステージ



松本養護学校
作品展バザー

ステキな製品に
思わずみとれて



みごと成功

マジックショー Mr.RYUICHI



歌と踊りにうっとり

諏訪貴士
フラダンスサークル・ブアメリカ

展示コーナー



中村朗さん 追悼写真展



東館
2階

キッチンカーやお店



完売で～す

今井小学校
おおぞら・たいよう雑貨販売



今井のりんごで作った
アップルパイ

行列ができて

何にしようかな

ひろばの蕎麦屋



大繁盛！早く売り切れ!!

ホットケーキ・読み聞かせ



今年もやりました
大きなホットケーキ

ステージ発表



気持ちを合わせて

鉢盛中学校吹奏楽部



鉢盛中学校合唱部

初めての文化祭登場



体に響きました

今井小学校6年生 兼平太鼓



お話しくれよんの会
(朗読劇)

もっと大勢の人に
きいてほしかった

5年前に菟坊主俳句会の方に声をかけられて見学させてもらったのが、俳句との出会いでした。五七五の形で季語を入れて作るという事しかわかっていませんでした。

この年、長男が鎌倉で結婚を挙げました。その時、「花嫁の笑顔眩しき古都は夏」という句を作りました。



「俳句との出会い」

杉山 洋子
(北耕地)



時には、「入園の布団カバーのミシン踏む」、帰省した孫たちがまた帰ってしまう時には、「またおいでと見送る

また初孫が生まれる時には、「新しい命待ち侘ぶ夏の夜」、「産声が動画で届く星月夜」の句が、保育園に入園する

皆さんも一度、菟坊主俳句会の句会をのぞいてみませんか。

「凡人」から『才能あり』になれるかは私の努力次第ですが、句友の皆さんと楽しみなからこれからも続けていきたいと思っています。

ホームに初夏の風」という句ができました。夏井いつき先生から『凡人』と言われそうですが、後から読み返すとその時の様子が浮かんできます。私にとって俳句は日記のようなものです。



優勝 下新田
準優勝 南耕地
第三位 西耕地



今井ナイターソフトボールリーグ

三位 川上 勇男さん

二位 犬飼 等さん

優勝 伝刀 寿子さん

●マレットゴルフ大会(9月28日)

スポーツ大会の結果

いまいスポーツ 第5回 健康フェスティバル

グラウンドで

今年の新競技「リレーゲーム」チームで力を合わせてつなぐリレー3種類。行いうちにいつのまにか仲良しになっていました。



落とさずに運ぼう!

ラケットでボール運び



おしりでわるのは けっこうむずかしいな

風船わり



こぼさないで入れよう

水入れ



パパがんばれ!!

ボール投げ



ねらいを定めて...

モルック

体育館で

新競技



けっこうむずかしかったよ

くつしたまいれ
くつ下のペアを探してまん中の箱に入れる競技



ボッチャ



どっちが白いボールに 近いかな?

北風南風

今井四郎兼平ゆかりの地、岐阜県多治見市諏訪町を訪ねた。1184年に琵琶湖畔で主君木曾義仲の後を追って自害した兼平。その一族

郎党が源頼朝の残党狩りから逃れ、この地に隠れ住んだという▼ここで毎年10月、「小木棒の手」と呼ばれる奉納行事が執り行われる。一説に兼平一族が農民に武芸として教えた棒術が今日まで継承されているという。「この地域の小学生は3人になつてしまいました。小木棒の手がこれからも続けられるのか本当に心配です」。今井姓の高齢女性が寂しげに語った姿が忘れられない▼兼平一族は日本全国に散らばった。移り住んだ地は例外なく人里離れた山奥。それゆえ過疎化が進み、消滅の危機にすらさらされている▼今こそ今井住民が立ち上がる時だ。長野県内外に残る兼平一族の伝承を今井が中心になって継承できるような仕組みができないものか。それが今井の開発に多大な貢献をした郷土の英雄への恩返しにもなる▼兼平没後840年にあたる2024年の暮れ近く。こんなたわごとを思いつつ、忙しない年の瀬を迎える。(YS)